



クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2021年7月7日

【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド1号～5号

分配時報告

平素よりお世話になっております。【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンドにご投資いただき、ありがとうございます。

標記ファンドにつきまして直近の状況及び、2021年6月期における本ファンドシリーズの投資家様への分配についてご報告いたします。

なお、2021年6月24日付「【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド1号～5号契約期間延長のお知らせ」にてお知らせの通り、本ファンドシリーズのファンド全号(下記【対象ファンド】)につきまして、クラウドクレジット・ファンディング合同会社(以下、「本営業者」)が本件匿名組合契約書第4.1条第2項にて定める本件匿名組合契約の有効期間を最大で12か月間延長し、延長後の有効期間を2022年6月末日までとさせていただきます。契約期間を延長した事由を以下に記載しております。

【対象ファンド】

号数	本件匿名組合契約期間満了日(当初)	本件匿名組合契約期間満了日(延長後)
1	2021年6月末日	2022年6月末日(12か月間の延長)
2および3	2021年7月末日	同上(11か月間の延長)
4および5	2021年8月末日	同上(10か月間の延長)

【出資対象事業の概況】

本ファンドは、クラウドクレジット・ファンディング合同会社(以下「本営業者」といいます)がクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdfund Estonia OÜ(以下「エストニアグループ会社」といいます)に対して貸付けを行いました。

その上でエストニアグループ会社はこの借入金を原資として、イギリス領ヴァージン諸島に籍を置く CPD Limited(以下「CPD社」といいます)へ貸付けを行いました。CPD社への貸付に対しては、CPD社の100%親会社で、アメリカ合衆国でセキュリティ事業を行う CAPTIS INTELLIGENCE INC.(以下

「Captis 社」といいます) が債務保証を行っております。

Captis 社は、独自に構築した犯罪者の顔写真データベースをセキュリティ企業や小売店舗に納入するセキュリティベンチャー企業です。米国の法執行機関(FBI、米国沿岸警備隊、米国財務省、州警察、市警察など) がそれぞれに保有する犯罪者の顔写真を統合したデータベースを構築し、セキュリティ企業や防犯カメラ製造企業、防犯カメラのシステム管理企業、小売店舗などに納入する事業を行っています。Captis 社のデータベースは顔認証機能付きの防犯カメラと連結され、万引きや強盗といった犯罪の防止および検挙に役立てられます。

*1 Captis 社 web サイト <https://www.captisintelligence.com/>

【契約期間延長の事由】

Captis 社は従前、同社が保有する犯罪者の顔画像データベースを、セキュリティ企業大手である Milestone 社に納入することを予定しており、かかる取引から最大 1,000 万 USD の収入を見込んでおりました。しかしながら、2020 年上半期において、Milestone 社が米国での新型コロナウイルス感染症の感染急拡大等を背景にかかる取引をキャンセルした結果、Captis 社は現時点までに返済資金を確保できておらず、かかる状況を踏まえて Captis 社はエストニアグループ会社へ返済期限延長を要請する旨の連絡を行いました。Captis 社は 2021 年 6 月現在、返済原資を確保するために、Milestone 社と同じくセキュリティ事業を行う MA 社やその他小売事業者へのデータベース納入取引を進めるとともに、個人投資家に対して出資の交渉を行っています。

2021 年 6 月現在において本営業者が想定する CPD 社の返済スケジュールは次の通りです。

- ・ 2021 年 6 月中に本ファンドシリーズ 1 号から 5 号の利息分 (合計約 2,500 万円) を返済すること。
- ・ 2021 年末～2022 年はじめをめぐりに、CPD 社は MA 社との取引契約成立を目指しており、かかる契約金額 100 万 USD を受領次第、返済に充てること。
- ・ その他収益の計上および現在交渉中の出資が成立次第、残額を返済すること。

なお、エストニアグループ会社は、CPD 社および Captis 社との間で締結するローン契約に基づき、延長期間については既存の貸付利率 13% (年率) に遅延損害金利率 1% (年率) を上乗せして計算される利息を徴求することで合意しております。

【分配の方針および当月分配金額】

上述の通り 2021 年 6 月期において、エストニアグループ会社が CPD 社より受領する経過利息をもとに、エストニアグループ会社は本営業者に対して、元本を優先して返済を行います。これは、最終

的に元本に毀損が生じる可能性がある中で、利息を優先して支払うと利息の分配のたびに投資家様において源泉徴収税の負担が生じ、最終的に元本が毀損することになった場合、トータルでのネット（手取り）の受取り額が減少してしまう可能性があるためです。また、本営業者は分配時点において本営業者がエストニアグループ会社に対して保有する債権残高（元本残高と経過利息を合計した金額）に応じて本ファンドシリーズ各号へ按分して、分配を実施します。

なお、来月期以降の分配についても、同様の按分および分配を行う予定です。

2021年6月期、エストニアグループ会社がCPD社から受けた返済を原資として、以下の金額（税引き前）を分配させていただきます（単位：円）。

【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド1号	5,732,830
【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド2号	5,713,597
【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド3号	5,679,477
【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド4号	3,950,411
【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド5号	3,855,450

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、エストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2020年12月末現在・単位：千円)	1,000	15,432,291	15,448,532	△16,240	2,003,020	30	297	222
Crowdcredit Estonia OÜ (2020年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	111,679,233	111,003,700	675,533	15,131,472	△240,808	△19,557	△19,557
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2020年12月末現在・単位：千円)	50,000	18,266,444	17,684,197	582,247	2,146,798	△434,008	△403,537	△455,279

※ 会計期間(2020年1月1日から2020年12月31日まで)の金額を記載しております。